

2016年10月20日

関係各位

野村ホールディングス株式会社  
コード番号8604  
東証・名証第一部

## 「アジアで最も持続可能な企業100社」に選出されました

野村ホールディングス株式会社(グループCEO:永井浩二、以下「当社」)は、シンガポールのChannel NewsAsia(チャンネル・ニュース・アジア)が発表する「アジアで最も持続可能な企業100社」チャンネル・ニュース・アジア・サステナブル・ランキング<sup>※</sup>に昨年に続いて選出されました。

「アジアで最も持続可能な企業100社」は、ESG(環境、社会、ガバナンス)のパフォーマンスに優れているアジア企業のランキングです。昨年度より日本企業が対象に加わり、アジアの主要企業1200社以上の中から100社(うち日本企業33社)が選定され、当社は2年連続で、日本の金融機関として唯一選出されました。

野村グループはこれまでCSR活動に積極的に取り組んできました。ESG投資に注目が集まる中、当社の環境・社会・ガバナンスに関する情報開示や責任投資への取り組みが高く評価されたものと考えています。

なお当社は、Dow Jones Sustainability Indices(ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス)のDJSI World(DJSIワールド)およびDJSI Asia Pacific(DJSIアジア・パシフィック)両指数、ロンドン証券取引所グループのFTSE Russell(フツイー・ラッセル)が提供する、FTSE4Good Index(FTSEフォー・グッド・インデックス)、ドイツ取引所グループのSTOXXが提供するSTOXX Global ESG Leaders Index、モーニングスター株式会社が提供するMS-SRI(モーニングスター社会的責任投資株価指数/2016年1月時点)にも採用されています。

今後も野村グループは企業市民としての社会的責任を果たし、豊かな社会の実現と持続的な経済発展に貢献していきます。

<sup>※</sup> チャンネル・ニュース・アジアと、CSRシンクタンクであるCSRアジアおよびESG評価機関のサステナリティクス社が、2014年より共同で公表しているランキングです。投資家や消費者に対して企業の持続可能な取り組みに関する情報を提供するとともに、アジアでビジネスを展開する企業のベンチマークとなることを目的としています。



以上